

『農業経営銭な〜る』VOL.1

近年、大幅な米価の下落に伴い経営に大きな打撃を受けている農家のみなさん、この難局を打破するため『農業経営銭な〜る』と題して、最近農家の方からたくさんの方の経営に関する質問がありましたので、それにお答えする形式で農業経営について考えてみたいと思います。

第1回目は、「そもそもコストとはどういう意味なのか」、「1ha規模の兼業農家でもコスト低減は可能か」という質問にお答えしたいと思います。

①コストとはどういう意味なのか

最近、非常によく耳にする言葉ですが、意味をはきちがえていることがよくあります。そもそもコスト(cost)とは、英和辞典に「値段、費用、経費、時間・労働の犠牲、損害」などと書かれており、特定の目的を達成するために発生した犠牲を貨幣額で測定したものであります。売上高に対するコストは「売上原価」、生産に対するコストは「生産原価」となります。一般にいう「コスト」は「生産費」、「売上原価」、「生産原価」等意味合いが異なるものが混同されています。したがって、経営目的により捉え方が違うので注意する必要があります。

☆農林水産統計上の稲作経営におけるコストの求め方 … $コスト = \frac{生産費}{俵数(60kg)}$

※生産費 = (物財費 + 労働費) - 副産物原価

物財費：種苗費、肥料費、薬剤費、光熱動力費、その他の諸材料費、土地改良及び水利費、賃借料、

物件税及び公課諸負担、建物費、農機具費、生産管理費

労働費：家族労働費、雇用労働費

②1ha規模の兼業農家でもコスト低減は可能か

可能です。もちろん、自ら農機具を所有することは避けなければなりません。地域の担い手や生産組織等に委託するか、また担い手等がない地域では同じ悩みを抱えた農家がいると思われまので、集落営農組織の設立に取り組むのも手だと思えます。

県内のある生産組合(仮称：銭なる組合)の事例を紹介すると、参加農家47戸すべてが兼業農家、共同出役方式(輪番制)でオペレーターを確保し作業を行う集落営農組織です。オペレーターは、あらかじめ渡される出役表にしたがってスケジュールを調整、どうしても当番の日に都合が悪い場合は、組合員相互で調整がなされます。このことにより、週日機械は休むことなく稼働することになります。結果、この組織での基幹3作業の作業原価は表のように、作業委託と比べ10ha当たり3,596円のコスト削減になっています。

作業名	銭なる組作業原価(/10a)	標準作業料金(/10a)	差額
耕起・代かき	10,212 円	12,300 円	2,088
田植え	6,206 円	5,600 円	△606
刈り取り	14,586 円	16,700 円	2,114
計	31,004 円	34,600 円	3,596

この他に、作業出役した分については組合員に賃金が支払われます。

1戸あたりの経営面積が1haに満たない小規模農家の集まりですが、いわゆる地域営農システムの典型であるといえます。小規模経営においても協業経営を行うことにより、機械の共同利用化、作付品種の適正化に加え、本田管理の一元化などにより合理的な技術体系を組めることから、コスト削減が可能になります。今後の経営で悩んでいる農家のみなさん「集落営農」を考えてみてはいかがでしょうか。

好天のもと 第20回岩室村農業祭開催

第20回岩室村農業祭“自然が新鮮！おもいっきりフェスティバル”が先月12日開催され、大勢の人たちで賑わいました。

今年は20回目とあって、人間でいうと成人式を迎えるまでに定着し、住民のみなさんに好評を博しています。

村では大豆栽培面積が急増したことから、豆腐づくりの実演や手づくり味噌・納豆の販売コーナーが好評で、現在の農業情勢が反映されたコーナーが目立ち、お昼には村内産米によるおにぎり・餅の無料サービスには長蛇の列ができていました。

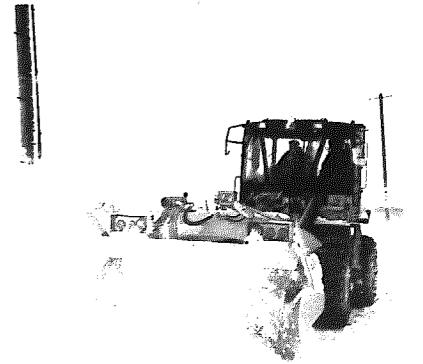
また、昨年の『介護劇』に引き続き、今年は『農村劇』が行われ、農協支部女性部の方がもんぺ服とぬいぐるみの馬に扮し耕運する演技に会場が沸いていました。



除雪作業は皆さんのご協力が必要です

村では、“雪”から、みなさんの冬の安全を確保するため、現在除雪機械などの準備を進めています。この除雪体制をフルに発揮するためには、どうしてもみなさんのご協力が必要です。そこでスムーズな除雪を行うため、次のような事にご協力ください。

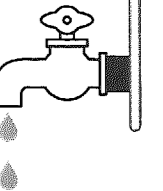
- ① 除雪車を傷つける鉄板などの障害物は、取り除いておいてください。
- ② 道路ぎわのへいや垣根などには、赤布などで目印をつけておいてください。
- ③ 除雪作業中は大変危険ですから、除雪車には近寄らないでください。
- ④ 路上駐車は、除雪作業に支障をきたしますので、絶対にしないようにしてください。
- ⑤ 村では、13台の除雪車を使い深夜2時頃から出動する体制をとっていますが、気象条件等によっては、除雪が遅れる場合もありますので、ご了承ください。
- ⑥ 除雪車が通った後、玄関先などで雪が山になることがあります。広い範囲を短時間で除雪するためには、どうしても残ってしまうことがあります。なにとぞみなさんのご理解をお願いします。



建設課 ☎82-5723

寒さから水道管を守りましょう

冬期間の凍結防止のために、水を流しっぱなしにする家庭が多く見られます。冬期間といえども水不足になることがありますので、節水にご協力ください。特に、この時期家庭内での水漏れが多発します。万一に備え、止水栓やメーターの位置をご確認ください。



水道の冬じたく

●夜の冷え込みにご注意

気温がマイナス4℃以下になりますと、防寒の不完全な水道管は凍ったり、破れつたりします。特に多いのは次のようなところ

- ① 水道管がむき出しになっているところ
- ② 水道管が北向きにあるところ
- ③ 風当たりの強いところにある水道管

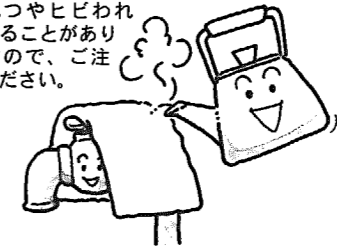
●水道管が破れつしたとき

まず、止水栓をしめて水を止めます。そして、破れつした部分に布かテープを巻き付けて応急処置をしてから、指定給水装置工事業者へ修理をお申し込みください。



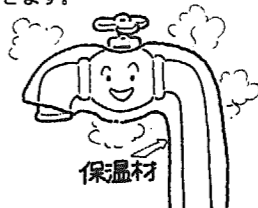
●水道が凍って出ないとき

タオルをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてときます。直接かけると破れつやヒビわれをすることがありますので、ご注意ください。



●防寒のしかた

- ① 保温材を巻きます。じゃ口が破れつしやすいので、絵のように完全に包んでください。



- ② 手近なものとして、毛布、布などを利用して下さい。なお、これらがぬれないように、上からビニールなどを巻いてください。



- ③ メーターボックスの中に使い古しの毛布や布切れなどを入れ、メーターボックスの上に段ボールなどを載せて保温してください。

